

## 義援金口座の開設と県産品プロモーションの取り組み

令和6年能登半島地震について、シンガポールでもメディア等での報道は続いており、このようなきっかけではありますが、石川県に関心を持ってきているシンガポール人が増えているように感じます。初めて会う飲食店の店員やタクシーの運転手に、私が日本の石川県の出身であることを話すと、「元日にひどい地震があったけど、あなたの家や家族は大丈夫だったか？」と心配してくださいました。また、県のアンテナショップを訪れた客からは、「少しでも石川県の力になりたいと思って来店した」という声も頂いており、このように遠く離れた海外においても、石川県のことを気にかけてくださる方がたくさんいらっしゃることに、とても温かい気持ちになりました。

先月の駐在員だよりで、シンガポールでの義援金口座の開設に向けて調整を行っているとお伝えしましたが、この度、在シンガポール日本国大使館において、口座を開設していただくことができました。（当事務所は日本貿易振興機構（JETRO）との共同事務所となっており、独自の口座を持っていないため、大使館に協力を依頼しておりました。）これまでシンガポールドルによる支援の受け皿がありませんでしたが、現地の口座が開設されたことによって、より多くの方にご支援いただけるのではないかと考えています。

また、これに合わせて、シンガポールの方々に支援を呼びかけるためのフライヤーを作成いたしました。県のアンテナショップや、今後実施を予定しているイベント等での掲示・配布を行うほか、シンガポールに拠点のある日系の関係機関や小売店、飲食店等にも配布し、支援の呼びかけへのご協力をお願いしていきます。こうした活動を通じて、シンガポールにおいても支援の輪を広げていければと思っています。

**Information regarding Noto Earthquake situation**

On 1 January 2024, a 7.5 magnitude earthquake struck and caused extensive damage and death tolls in the Noto Peninsula area of Ishikawa Prefecture.

Local government confirmed of least 240 deaths and 1291 injured as of 7 Feb. More than 45,000 houses were destroyed or partially damaged and many are still forced to stay in evacuation centers until they can relocate or rebuild their homes.

The earthquake had led to devastating aftermath - the collapse of houses and buildings such as lacquerware workshops and their breweries, which make up for the livelihoods of the people in Noto involved in traditional craft making and sake making.

At Wajima Morning Market, a famous tourist spot, a large-scale fire destroyed more than 700 shops and houses, leaving it in a completely changed state.

The cost of damage in Ishikawa and two neighboring regions is likely to cost between 1.1 trillion yen (\$1.4 billion and 2.8 billion yen (\$17.6 billion) according to a government estimate (21 Jan).

It is our hope that money raised from donations can go towards aid in helping the residents rebuild their homes and restore Noto Peninsula to the condition it was like before the earthquake. Hopefully, business can resume, and they are able to go back to their normal lives and livelihoods which were taken away by the earthquake.

These livelihoods include fishing, agriculture, sake making breweries, traditional Japanese crafts workshops and many more.

**Donations for the 2024 Noto Peninsula Earthquake**

The Embassy of Japan in the Republic of Singapore has set up a bank account for accepting donations. You can donate to:

Account Name: NOTO HANTOU EARTHQUAKE DONATION	Account Number: 125239
Bank Code: 7126	Branch Code: 001
Bank Address: HAFS BANK LTD., SINGAPORE BRANCH (THE BANK OF TOKYO - MITSUBISHI UFJ LTD)	SWIFT Code: BOTK333X
7 Straits View, #22-01 Marina One East Tower, Singapore 018936	

Thank you from the bottom of our heart.

**Ishikawa**

Prefecture is situated in the Chubu region, in West coast of Japan. It is also located on the Sea of Japan coast, which gives rise to fresh and delicious seafood dishes. Ishikawa is a beautiful prefecture with delicious food, great scenery of nature and a rich historical culture.

作成したフライヤー

## ■石川県産品のプロモーション

直近の飲食店や小売店での県産品のプロモーション活動についていくつかご紹介させていただきます。

### ① 日本食レストランでの日本酒フェア

シンガポール随一のショッピングエリア「オーチャードロード」の近くに「カッページテラス」というオープンテラスの飲食店街があります。その中で人気の日本食レストランである「たまやダイニング」において、12月の下旬と2月の上旬の2回、石川県の日本酒フェアを開催しました。石川県の日本酒を15種類ほど揃え、すべて飲み放題で提供するイベントで、お酒好きなシンガポール人が多数来店してくれました。飲み放題なので、色々な種類の銘柄を飲んでみたいという方が多く、「辛口のお酒をいくつか試してみたい」「さっき飲んだ銘柄がとても美味しかったので、似たようなものを教えてほしい」といった要望に合わせて、お酒を提案しました。各銘柄に対する感想を直に聞くことができ、日本酒のPRだけでなく、マーケティングの面でも非常に有意義なイベントとなりました。



たまやのフェアの告知



たまやのフェアの様子

### ② 焼き鳥居酒屋での日本酒、ジェラートの提供

先述のオーチャードロードから比較的近く、外国人居住者も多い高級住宅エリア「リバーバレー」に店を構える人気の焼き鳥居酒屋「つくね一期」において、石川県の日本酒、ジェラートを特別メニューとして提供していただいております。この店を経営する日本人オーナーの方から、石川県の復興に向けて何か力になりたいという声もいただき、メニュー化が決められました。お店の想いに共感して注文する客も多く、売上は非常に好調だそうです。今後は石川県の海産物などもメニューで使用したいと伺っており、少しでも多くの石川県産品を使っただけのよう、しっかりと連携していきたいと思っています。



つくね一期の特別メニュー

### ③ 日系スーパーでの石川県産品の販売

食品を中心にこだわりの日本産品を取り扱う日系スーパー「IROHA MART」において、石川県産品の特設コーナーを設けていただきました。甘酒やゼリー、調味料、日本酒などの食品、九谷焼や金箔といった工芸品など、アンテナショップで売れ筋の商品を中心に販売し、日本の良いものを探し求めているシンガポールの方々に対して、石川県産品のPRを行っています。

このような取組を通じて、飲食店や小売店へのBtoBの販売ネットワークを着実に広げていくことで、現地での石川県産品の消費拡大、ひいては石川県企業の輸出の拡大に繋がってきたいと思っています。



IROHA MART の特設コーナー